

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄返還交渉資料第4巻

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): 総理訪米, 米国人記者との会見, 総理, 愛知外相, ニューヨーク・タイムズ, 愛知外相・ロジャーズ長官会談, 統合局長・スナイダー会談, 記者会見, 外相, 官房長官, 米国下院歳出委員会対外活動分科委非公開聴聞会, スナイダー国務省日本部長 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43630">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43630</a>

愛知外務大臣



秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

それは微みようなところだ。

(6) 東南アジア援助問題については、英側はインド、パキスタンのことを念頭においている。わが方はこれらも考えているが、資金が無じん蔵にあるわけでもないし、あくまでも東南アジア中心ということだ。インドネシアが日本の援助の重点となるべきだという点は英側も同感していた。

(7) スエズ以東の英軍引あげ後の日本の態度についても質問を受けたが、70年代には日本も努力しなければならぬが、英国も手はぬいてはこまるし、また手をぬくこともなさそうだ。更に英国は、アジア諸国も自らの力でやる気がいを起さざるべきだということを考えているようだ。それにつけても自ら軍を引こうという時だけに経済援助だけがいいというものではないということも英側が頭においていることが分る。

(8) (日本に対して英側がもつとも関心をもっている点は何かとの質問に対し) 日本が政治的にも経済的にも強くなっていることが望ましいということだ。てい察機撃つい事件を含む朝鮮半島の情勢につき日本及び米国がどうみているか、各国の政策がどのようにE S T A B L I S Hされるのが望ましいかという点だ。この点日本のノ部のジャーナリズムのどつている非武装中立論では解決されず、事態

-3-

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

はもつと深刻で、そのためもつと日本に期待しているということが読みとれる感じだ。

(9) オキナワ問題については最後に先方から質問があり、返かんについては出来るだけ早くしてもらいたいというのがわが方の希望だと述べておいた。アジア地域におけるオキナワの重要性については、米国との間で十分話合っている旨も述べた。核ぬきあるいは事前協議等の問題については先方は一切ふれなかつた。

2. マーガレット王女表けい

私の出発前に同王女を第1公費としてお迎えすることを正式に決めた以上この機会に訪日をお待ちしていますということも申上げるべきだということで表けいを行なつた。非常に気さくな方で、スノードンきようからも日本のことを聞き訪日を非常にたのしみにしておられるようだ。

3. 日米交渉(オキナワ問題)

これはとにかく、長い時間のかかる問題だ。6月早々に訪米して話合を行なうがそれではつまらないと思う。E O G E E S 長官が7月末(22日か23日)には来るだろうし、総理とも会おう。9月第2週には自分も訪米して交渉して問題を1、2点につめ、あとを11月のサトウ・メクソン会談で解決してもらおうという段取りだ。ジョンソン大使後任後任が来ないので交渉が一時遅れたが、その遅れはどうか取もどせたようだ。

じん容についても整っている。トウゴウくんが米国に取材



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

したらそれで終りというようにできるものではなく、総理訪米までに最も納得のいく解決を計るよう交渉のテクニックについては時間をつめながらぎりぎりのところで考えたい。

施政権返かんについては、早期返かんとし、返かん後はわが国の憲法及び一切の条約法りつがオキナワにも適用されるというのが理論的にも妥当であり、またオキナワけん民の願望に答える意味でも最も自然かつ望ましいと考える。日本国民だれしもの願望たる国土の安たいもこのわくで解決できると思う。他方責任をとつていた米当局としては自分たちの手はできるだけ自由でありたいと思うのももつともなことであり、これをつめてじっくりと結論を求めて行くのがこれからの課題と思う。

3. (ニクソン・チュウ両大統領のミッドウエイ会談をひかえ、ベトナム問題が流動的な段階で大臣が訪米されたのはタイミングが悪いとの見方があるがとの質問に対し) オキナワ返かんとベトナム問題とは別問題であり、タイミングはむしろ遅かつた位である。ミッドウエイ会談については訪米日程決定後に決つたことであり、これにより自分の訪米目的はオキナワ返かんに関する今後の日程づくりであり、この調子ならうまく行くと思う。米側の準備が十分整っていないとの点については、今次訪米はそれを促進する

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

点でも意味があり、できるだけ今後のスケジュールをつめたいと考えている

(ベトナム問題解決後の方がオキナワ問題も解決し易いのではないかとの質問に対し) ベトナム問題の前途等は予想し得ることであり、このためオキナワ問題の処理を延ばしたりせず、ひたむきに進むべきであると考え

4. (スタンス商務長官との会見に関連し、せん維・自動車問題は訪米の本来の目的からはずれるであろうがとの質問に対し) 日本側としてはそうだが、米側の意向は強いようであり、やってみなければわからない。日本側のテンポが遅いからといって根ていから変えろといわれるとせつかくの意よくもなくなるので、この点を理解してもらいたいと思つている。本件については英・イ・韓国も強い態度をとつており、単なる2国間の問題ではないので、米としても強い方が難しいようである

5. (オキナワについては政治、軍事の両観点のいずれに重点を置くかとの質問に対し) 日米友好関係は現在以上に強化されることが望ましいが、これは軍事面だけで達成されるものではなく、また軍事的な面についても基地が有効に使用されるようオキナワけん民が協力することが必要であり、このへんの高度の判断を米側に望みたい

6. (米側より日本の責任分たんにつきしつように追求さ

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

れる可能性があるらうとの質問に対し) わが国が主権国家であり、対等の立場で安保条約を結んでいる以上、日本がどうするかは日本独自の立場より日本国民の手により決められるべきである。自分もアジア政策につき1980年を目標として1970年代のあり方につき考え方をまとめた。しかしかかる話をする以上米側の話も聞きたく、インフレ、黒人、大学問題等そう方のかかえる問題につき意見を聞くことは有益たるべく、また経済協力及び防衛についても日本としてはただ乗りではなく、努力していることを説明したい。これはせん維、自動車にも関連してくることである

7。(民社党訪米使節団によれば、ジョンソン次官等は朝鮮、台湾における緊急事態を特に問題にしている由であるが、この点については話し合っていないのかとの質問に対し)(日本側でも)種々の場合を想定はしているが、これまでのところ事前協議は生じていない。また従来事前協議はV E T Oとの考え方が定着していたが、基地は日本が提供したものであり、本来米軍が自由かつたつに使用すべきものである。日本が主権国家としてだく否を考えるのが真の主体性であり、否というだけのためのものではないと考えるが、とにかく米側といろいろ話してみたい。また極東の情勢、深刻さ、タイミング等についても話し合ってみた

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

い。  
8。(ニューヨークタイムズのトム・ウィツカーは東京発の記事で米側としてオキナワ返かんに応じられないなら、この段階でそう知らせてほしいというのが日本政府の考え方であると報じているがとの質問に対し) 米側意向については種々の情報が入っているが、そのはばは広く、私自身としても自分で接触して心証を得ないと判断できない。米国内にも安保不要論もあるかも知れない

(3)

(1440 1室、協育席事務室の連絡済、電信課)  
" 中曾根首相直席に " "

ソカヒ 万博

大政事外外官  
務務 房  
次次  
臣官官審審長  
備書友会管給

総入電厚計  
国管長  
参調折  
参領旅移

参北東経  
長  
参北地保  
中開審  
長  
参一  
二  
参東洋  
西東

参審近ア  
次総経国万  
参領統  
参政技二  
国一  
参協規  
参政経科  
参社厚  
参領内  
長  
文長

SAER

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 2,342 / 主管  
69年6月1日 00時50分 米 国 発 米北 /  
69年6月1日 13時59分 本 省 着 米北 /

外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

アイチ外務大臣記者会見

第1678号 極秘 大至急

往電第1677号に関し。

1. 冒頭往電の記者会見の際、記者側より最近ヴァイエトナム情勢がオキナワ問題に影響を与えているが、オキナワ基地につき了解工作が行なわれているかとの質問があり、これに対しアイチ大臣より次のとおり答えられた。

韓国政府等から日本政府に対し文書等での申入れはない。サイ韓国外相はヴァイエトナム参戦国会議ではこの点につき発言レコミュニケに入れることを要求した経緯があり、A B P A C の会議でも出ずであろうし、オキナワが韓国に安全に関係があるとの韓国の言い方は今後とも続くと思われる。

しかし、オキナワは日米間の問題であり、また安保条約には極東条項があり韓国はフィリピン、台湾とともにその対象として含まれることにも留意すべきである。

(将来韓国から申し入れを文書で行なってくる可能性はな

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

いかとの質問に対し) そのようなことはないと思うが、そういえば逆に韓国が反ばつて文書で申し入れを行なう可能性もあり、この点はオフ。レコにしていだきたい。

2. 上記1. の極東条項に比、韓、台湾が含まれるとの大臣の発言につき記者側より質問が寄せられたのに対し、大臣は右は確定解釈であり、ヴァイエトナムはしゅうへん諸国に該当すると思う旨答えられた。

(了)

章、脇首事務官に連絡済。1440. 電信課  
中曾根(情道)首事務官に連絡済。

- 2 -

秘







注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

使大臣級会談、事務レベル協議等により双方に満足の行くよう解決したい旨述べた。

もち論核ぬきをおし通したのは当然であり、要するにニクソン大統領に日本政府として要請したことをもつとこまかく國務長官に要請したと思つていただいてよい。ロジャース長官は話の途中今朝の新聞記事を話題にし、右報道で米國政府決定として報じられていることは事実と反する、何分にも貴方の話を聞かず決定するはずがない旨述べた。

食後経済問題につき若干の話が出た。先方は昨日大統領の話で出たようなことにつき日本側の考え方をききたかつたようだが適当に応しゆうしておいた。何をどうするという話はしなかつたが、先方はききたかつたようで、ロジャースはスタンスに会うんですねといつていた。

2. 次いで大臣は記者団の質問に答えられたところ要点次のとおり。

(1) (アジアの安定に資するフォーミュラが出来るとの確信を述べられたのに対する米側の反応はどうだつたかとの質問に対し) 特にコメントはなかつた。今日は大体私が話をした。ロジャースは聞き上手ということだが、確かにそうだつた。明日はこちらが聞く番であり、明後日の第3回会談では今後どう進めるかというアレンジメント、方法論を相談することになる。

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(2) (極東情勢の問題が話に出たかとの質問に対し) 話に出た。最近韓国はよくなつており、この調子なら北鮮にも対処できるのではないかというような話もしたし、中共の九全大会にも触れた。もつとも内容的には定期協議でもやつていてととりたてていうことはない。今日は昨日の大統領との話の続きであり、こちらはオキナワ問題を話したいから他の問題には触れなかつた。

(3) (ロジャースから米側の基本的態度は述べなかつたかとの質問に対し) 昨日のニクソン大統領と同趣旨であり、政治的にも経済的にもアジアの安定が重要であり、米國としても関心をもたざるをえない、しかし中心は日本だから日本の態度を高く評価しているといつた話だつた。しかし、今日は日本の独演会でロジャースは昨日のニクソンほどは話さなかつた。

(4) (ロジャースの東南アジア旅行の話は出なかつたか) 出ると思つてしたが、こちらをききたいということではほとんど出なかつた。

(5) (安保条約の自動延長という点はどうかとの質問に対し) 日米双方ともいうまでもないというところだが、公式に言つたのは始めてであり、先方もこれを了解しているようだ。

(6) (1972年までに返かんの点はどうかとの質問

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

に対し) どちらからはこれをはつきりと述べた。先方はコメントしなかつたが素直に受け取っているとの感じだ。オキナワについては言いたいだけのことは始めに言っておかねばならないから全部話した。

(7) (今後のアジアにおける日本の役割につき大臣より触れられたかとの質問に対し) 触れた。しかしオキナワ返かんに関連してではなく、わが国の国策を語った。

(8) (核ぬきの点はどうかとの質問に対し) わが国が唯一の核国たることから日本の国民感情の問題等くり返し述べた。(核ぬきの反応はどうか) 先に述べたとおり、今日の新聞報道は米政府の態度ではないとのことであり、未だコメントできないのだと思う。(明日返事があると思うか) 予想されない。

(9) (経済問題はどうか、せん維や自動車の話が出たかとの質問に対し) ちゆう食の時ロジャースは経済問題につきききたかつたようだ。せん維、自動車という言ばが出たという程度である。(オキナワと経済問題を関連させようとの感触はなかつたかとの質問に対し) オキナワはちゆう食になつてからは全然出なかつた。

(10) (核防条約の調印問題は出たかとの質問に対し) 出なかつた。

(11) (もう山を越したことになるかその他今後の

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

見通しにつき質問があつたのに対し) 山をこしたとは思わない。今後進め方をつめる段階になつて今ごろこんなことをいうような話が出るのではないか。先がながいことだからいろいろの場面があるだろう。1972年までの返かんについては昨日、今日とこちらの立場をくり返したが、基地の態様の問題はそう簡単に行くものではないとの気持が先方の態度にもうかがわれた。これがいかなる具体的な形になつてくるかが問題である。いずれにせよこちらとしてはひたおしにおし続けるしかない。ロジャース長官は7月末夫人とともに訪日し、27、28日に京都に行くとしてこれをたのしみに行っている旨くり返し述べていたから、その時にまたロジャースとも会えるわけだ。(3)

ソガヒ 万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官  
事務 房  
次次  
臣官官審審長  
秘書文会管給  
総入電厚計  
参調析  
参領旅移

総番号(TA) 23837 米 国 主管  
 69年6月3日 12時30分 猪 着  
 69年6月4日 10時45分 本 省 猪 1

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣邦人記者ブリーフィング

第1709号 極秘 大至急

往電第1708号に関し

冒頭往電のブリーフィングにおいて大臣はこの点はオフレ  
 ーとして次のとおり述べられた。

ロジャース長官はニクソン大統領に比べ、オキナワをはじめ日本の問題については知り方が少なく、今後日本の立場をよく理解してもらおうようにしなければならないと思う。十分ブリーフィングも受けていないようで、ジョンソン次官が手助けしていた。

ア 参北東経  
長 中西  
米 参北北保  
中 参一  
南 参西東洋  
欧 参西東

近ア 参書近ア  
経 次総経國万  
長 参貿統  
経 参政技二  
協 国一理  
長 参条協規  
国 参政経科  
長 参社専  
文 参道内外  
長 一

極秘

ソガヒ 万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官  
事務 房  
次次  
臣官官審審長  
秘書文会管給  
総入電厚計  
参調析  
参領旅移

総番号(TA) 24007 米 国 主管  
 69年6月4日 12時15分 猪 着  
 69年6月5日 12時28分 本 省 猪 1

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣邦人記者会見

第1724号 平 大至急

往電第1714号に関し

アイチ外務大臣は本4日ロジャース國務長官との第2回会  
 談の後約30分同邦人記者会見を行なわれたところ。大要  
 次のとおり。

1. 先づ大臣より要旨次のとおり述べられた。  
 今日ロジャース國務長官をはじめ國務省関係者と予定通  
 り第2回会談を行なった。最初に前もつて米側から会談参  
 加を認めるよう依頼のあつたスミス軍縮庁長官より、日本  
 がENDCに参加出来たことにつきしゆく意を表明し、活  
 やくを期待する旨述べた。また7月の会談に大臣が来られ  
 るかもしれないと話をきいたが来られるとよいとも述べ  
 。核不拡散条約及び軍縮に対する日本の役割に期待する旨  
 述べた。こちらからは核不拡散条約については日本も協力  
 しこれがよりよいものになるよう意見を述べ。そのあるも  
 のは条約にとり入れられた。しかし批准の時期については  
 国内にもいろいろ意見がありこれから検討するところであ

参北東経  
参北北保  
参一  
参西東洋  
参西東

参書近ア  
次総経國万  
参貿統  
参政技二  
国一理  
参条協規  
参政経科  
参社専  
参道内外  
一

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

り。今のところは何もいえない。BNDの参加については米側が努力してくれたことに感謝しており、地下核実験。さいきん兵器の禁止については日本としても専門的研究もあり。単に議論をもつたというだけでなく積極的にこうけんしたいとの意見を述べ、先方も満足のようなった。(以上のやりとりは私とスミスの2人だけで行なつたもので、ロジャース長官は発言しなかつた。スミス長官はこれで退席した。)

ロジャース長官は会議の最後に、今日の会議を真約すると強硬的で成功だつた。共通の目的を達成するために解決の手段方法をそう万協力してたん究することに合意をみた。ということてよいですねといつたので全くその通りですと答えた。長官は明日記者会見する由で、その際そう言えることはよろこびですといつていた。その外朝鮮半島、中共情勢等についてもかなり広範に見意を交換した。

2。次いで六百は記者団の質問に答えられたところ要点次のとおり(カッコ内は質問)

(会議時間は) 2時30分から4時10分ごろまでだつた。

(スミスが退席したのは) 20分位だつた。残りの20分位はオキナワ問題と国際情勢に関する意見を交換した。

(ヴェトナム撤兵の問題は出なかつたか) 出なかつた。

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(今日は主として米側の話を聞く番とのことだつたが) 今日には本当のディスカッションだつた。

(米の反応は) ロジャース長官の述べた共通の目的を達成するため共通の問題の解決の手段方法をたん究するという言ばが会議の実体をよく示している。

(アジア情勢を話したというのはオキナワに関連してか) 必ずしもそうでない。本当のディスカッションだつたから。例えば途中でロジャース長官が中共につきMR. MINISTERSはどう考えておられるかと述べたの等は必ずしもそうではない。米側はアジアにおいてはヴェトナムをかかえており、中共、朝鮮に関心をいだいている。(見方に違いはないか) 先方の方が中共のきょういをより強くみているようだ。

(共通の目的とは何か) オキナワ施政権の早期返かんとみてよいのではないか。

昨日のお話のフオーミュラの話は出たか) これこそ共通の問題を解決するための手段方法に入り。当然話に出た。

(先方の感しよくはつかめたか) これからが大変と思う。

(フオーミュラというのは視数で出たか) そうでない。これから手段方法をたん究するといつている。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(明日の会談はどうか)もつとつめなければならぬ。これからどう話して行くか、これからのつめの手段方法。例えばワシントンでどうし、東京でどうするか、どのレベルで、7月にはどうするか、9月にはどうするか。といったことを、総理訪米までに決着するということ—これは共通の目的に含まれると思う—に合せて話し合わねばなるまい。

(成功だったとはどういうことか)そう方の問題点を今日の時点において確認しあつたことが成功だったというと思う。

(オキナワ問題については既に同時協議することになっているが、今回の会談はどうか)これまでよりももつとよく細部にわたっており、ずつと具体的になつてきた。

(事前協議の問題も出たか)出た。

(そう方の立場に相違があるか)交渉のことだからコメントしにくい。ただ、これからは具体的になるから山あり川あり難関がああだろうということはいえよう。もつとも共通の目的は総理訪米までに決着をつけようということだから...

(アジアの緊張という場合、米側は朝鮮半島を問題にしているのか)中共についてもなかなかしびいようだ。

(今日は米側は結論を出していないそうだが、核ぬき、自

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

内使用の点についてはどうか)先方はこちらの願望を理解したとはいえるが、結論を出してはいない。

(共通の目的という場合、1972年までの還かん及び安保条約のわく内の2点が入っているか)1972年までという点はニクソン大統領にもロジャース長官にも述べており、理解したと思う。しかしこれは願望を述べたもので今後の道程は<sup>その先</sup>どうかわしいと思う。

(共通の問題に経済問題は入っていないか)今日はオキナワ問題で頭が一杯であり、経済問題はこちらからは全然出さず、先方も触れなかつた。それに明日ケネディ財務長官に会うし。

なお書類は全然出しておらず、議事録も作っていない。日本の考え、私のいわゆるフォーミュラというのは核ぬき本土のみ、72年、安保条約のわく内で特別の取極は行なわない、ということと解決するということとであり、特定の文書を目指すものではない。

米側の態度としてはサジェスティブなものは出ているが、感かく的にどきりとするようなものは出していない。今後事務的につめて行くと大筋についてもそう方くい違いが出てくるだろうが、こちらの主張はよく理解してもらったと思われ、これが私としては何よりである。

(東京ではオキナワ返かんのかん境をよくするため7品目





注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

。特に1970年代の10年間の発展途上国援助の重要性を述べたところ、ケネディも全く同意見で、ワタナベ・アジア開発銀行総裁の活動をほめていた。

先方はただアメリカだけが出資するというのでなしに、米側出資は少ないにしても、みんなで協力することが望ましい。特別基金の機能には期待していると語ったので、こちらからなんといつてもアメリカが積極的になつてくれることが必要だと述べたところ、先方も原則的に賛成した。

(問) アメリカの国際収支の話は出なかつたか。

(大臣) 出たといえば出たという程度。

(問) ドル防衛の問題は。

(大臣) 出なかつた。全般的に言つて、出たとも言えるが、特定のテーマとしては全然出なかつた。

(問) 一般的話し合いということですか。

(大臣) そうだ。7月の閣僚会議にぜひ出席してくれと要請しておいた。

(問) アジア開発銀行の全体の規模拡大とか、日本の出資についての話は。

(大臣) 先方は大いにやるという一般的決意の表明をしていた。あとは、少額なんて言わないでくれ。コンGRESSもあるんで、その限りでできるだけのことをやるといつて

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(問) アジア開発銀行特別基金出資は、ジョンソン時代2億ドル、ニクソンになつて一般わくなく、70年度25百万ドルだけしか言っていないが、新政権の目途はどこへんにあると感じられたか。

(ムライ局長) これからの国際収支動向によるので、現在は白紙であるというように受けとつた。

(問) 何か新しい注文は、資本自由化の問題を含めて。

(大臣) なかつた。

(問) GDRRについて何か話は。

(大臣) こちらから聞きたかつたことの一つだが、時間もないので聞かなかつた。

(問) 日本の国際収支や準備について。

(大臣) こちらから先きに、10億ドルのくろ字うんぬんが問題にされるが、経済のストラクチャーが変つて来ているのだ。米国はアジア地域に随分投資をしてきたが、これが生きてきて、これら地域からの日本の輸入は非常に増えてきている。日米貿易だけでなく、マルティでももらいたい、と強調したところ、かれもそうだな。ひとつの考えだけにとらわれるのは間違いかもしれないね、と言っていた。



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

訪米にあたり内外報道界各位よりあたたかいもてなしを受けたことを厚くおれい申し上げる。

2. 次いで大臣は記者団の質問に答えられたところ要点次のとおり。

(オキナワ施政権返かんにつきこれまでどの程度の成果があつたか) 今回のオキナワ返かん問題は私の理解するところでは、利害の相反する通常の交渉とは異なり、共通の問題に対し双方の望ましい方法論をたん求する、双方の理解をたかめて行こうではないかというものであり、その意味で教次にわたる会談は建設的であつた。

(スタンスとの会談で貿易問題を話した際せん維の自主規制も出たはずであるが、その実施の可能性はどうか) せん維の自主規制についてはスタンスとの会談で話が出たのは事実であるが、むしろスタンスより先般訪日の際と同様のような形で出たものであり、先回話したのがつい最近のことでもあり、私の意見はそう簡単に変るものではない。スタンスとは貿易制限、資本自由化を含む経済問題につき友好りに会談した。7月東京で日米合同経済関係会議が開催される予定であり、その際さらに検討されることとなる。

(施政権返かん後の米軍核兵器の撤退については原則的了解を得られたか) 先刻述べたとおり今回教次の会談においてこう定的にも否定的にも合意に達したわけではない。わ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

れわれ日本国民には核武装については独特の気持があり、非核3原則に象徴されるような日本国民の核に関する考え方は十分に説明し、相当な理解を得たと思う。

(買下のせん維に関する立場は変っていない由であるが、その立場を御説明いただきたい) 一般的にいえば日本は貿易、資本とも自由化を基本政策として進めたいと考えている。米國ではそのテンポが遅いと思われるかも知れないが、米國とは経済力も違いテンポが遅いことは理解していただきたい。しかし日本の自由化は着実であり、これに逆行する制限的措置はとらない。米側としても数字的に考えても自由化に反する制限的措置をとらねばならぬ十分な根拠があるとは考えられず、欧州やアジアの開発途上國も反対の立場をとっており、これを調整するのは相当困難かつ時間を要すべく、佳愈な解決は期し難いと思う。

(共通の目的というのはアジアの防衛についてのものか) オキナワ返かんについては2年前のサトウ・ジョンソン会談で返かんの方向につき既に合意をみており、これを實現する方法をたん求することが共通の目的と考える。日米双方が完全な信頼関係に立つて広くアジアの政治経済人心が安定し、紛争の武力による解決が必要とならぬよう努力するのが共通の課題である。

(スタンスは投資につき見通しが明るくなつた旨述べたが

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

この点に関する日本の態度は変わったのか)日本は基本的には自由化に賛成である。この点については今日も意見を交換したが、日本が作っているスケジュールをいくつかの物資及び資本についてくり上げることが可能であり、その意味で明るくなったといえよう。スタンス長官はダブ・ネブシエーターであるがそれだけにかえって信頼関係をじゆ立てできるものと思われ、同長官とは友好的な関係が出来た。

(ロジャース長官は記者会見で日本の対アジア振助の増大に言及しているが)右発言については今日ロジャース長官自身よりかかる発言を行なった旨の語があり、私も承知している。日本のGNPは相当なものになっているからアジアをはじめ低開発国振助を増大すべきであると私はかねかね考えていた。日本のGNPは1980年には5千億ドルになるとの試算もあり、もしそうなれば今よりはるかに多くの海外振助が出来るとはやらなければならぬと思つている。これはわが内閣の基本政策であり、ロジャース長官もこれを十分了解したものである。

(日本の核アレルギーは世界しゆう知のことであるが、日本が核不拡散条約に署名していない理由を知りたい。またENDC参加後もこの政策を続けるのか承知したい)日本がENDCに参加出来たことは有難い。参加した以上単に

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

席を有するだけでなく地下核実験禁止等についても積極的に提案をして行きたい。核不拡散条約については趣旨は賛成であり、かねがね日本の意見も述べこれもとり入れられており締結なことと思うが、署名についてはこれを行なえば批准は当然のことであり、国内に種々意見もあるのでこれをまとめる時間が必要であり、もうちよつと時間をいただきたい。

(レアード国防長官との会談でアジアの危機感が出た由であるが、日米の分岐点見解は異なるか)そもそも情勢分岐点、判断にははばがあるのが当然である。緊迫の具合、タイミング等を考え合せるとしぶい見方とあまい見方があるのは当然であり、その意味では全く相反するということではない。

(総理訪米の際まとめられるといわれるが、1972年までにといいことで返かんを実現するということか)難しい交渉があるかららつともひつとも考えない。これからの交渉に当り米国民の支持を得なければならず、またオキナワびん民及び日本国民の強い願望にも応えなければならぬ。これはサトウ総理のリーダーシップと手わんによつてのみ解決されるものであり、ニクソン大統領は総理をよく知つており、総理を信頼している旨述べており、この解決を期待している。

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

(合意成立の可能性がなくても総理は訪米されるのか) 総理が//月に訪米し大統領と会見するというのは既に決定していることであり、その際解決されることを期待している。

(米國がせんいの輸入制限を行なつたらどうするか) 米國が規制するなら国会で立法等を行うことになると思うが日米信頼関係の存するところでそのような事態が生じるとは考えたくなく、仮定の問題には答えたくない。

(日本は中共と貿易しているが、日本側中共貿易当事者が日本政府を攻撃するようなコミニケを何故出させるのか) 中國問題に関する日本政府の立場は御承知のことと思うが台湾政府を承認し中共との関係は事実上のものである。となりに大きな人口をもつところがある。以上貿易や新聞記者等人的交流があり事実上の関係をもつのは無理からぬことであり、これらの関係者の自由な意見の聞かぬは政府としてはもくさつするしかないと考える (3)